

「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)の概要報告

全老健学術委員会では、1996 年度より継続的にインフルエンザの発生等に関する実態調査を実施してきました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)(以下、新型コロナ)の流行を踏まえ、2020 年 10 月より調査内容を見直し、「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」として、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルス感染症(以下、ノロウイルス)を対象とした発症状況調査を、半年ごとに実施しております。

このほど 2024 年 4 月～9 月ならびに 2024 年 10 月～2025 年 3 月の、2 調査の結果がまとまりましたのでご報告致します。ご多忙のなか、調査にご協力いただき貴重な情報をご提供下さいました会員施設の皆様に深く御礼申し上げます。

なお、この調査は通年調査として継続実施しておりますので、今後ともご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

【調査概要】

■ 2024 年度の上半期を対象とした調査：2024 年 4 月 15 日付 全老健第 6-15 号

調査対象： 3,543 施設(2024 年 4 月現在の正会員施設)
調査対象期間： 2024 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日
回収数： 956 件
回収率： 26.9%

■ 2024 年度の下半期を対象とした調査：2024 年 10 月 15 日付 全老健第 6-150 号

調査対象： 3,544 施設(2024 年 10 月現在の正会員施設)
調査対象期間： 2024 年 10 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
回収数： 462 件
回収率： 13.0%

I. インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況について

2024 年 4 月～2025 年 3 月の発生状況（図表 1）をみると、

- インフルエンザの発症者数は、2024 年 10 月から「職員」の発症者数が増え始め、2024 年 12 月からは「入所者」と「通所者」の発症者数が増え始め、2025 年 3 月まで発症者数の多い状態が続いた。なお、昨シーズン（2023 年 12 月～2024 年 3 月）の「職員」の発症率が 0.320%～1.369%であったのに対し、今シーズン（2024 年 12 月～2025 年 3 月）の「職員」の発症率は 0.139%～2.737%であった。
- 新型コロナについては、「入所者」、「通所者」、「職員」のいずれにおいても、今回は、2024 年 7 月～8 月と 2024 年 12 月～2025 年 1 月をピークとして、発症者数が非常に多い時期が 2 回出現した。
- ノロウイルスについては、「入所者」と「職員」において、2024 年 4 月と 12 月から翌年 3 月に発症がみられた。なお、昨シーズン（2023 年 12 月～2024 年 3 月）の「入所者」の発症率が 0.012%～0.348%であったのに対し、今シーズン（2024 年 12 月～2025 年 3 月）の「入所者」の発症率は 0.026%～0.679%であった。

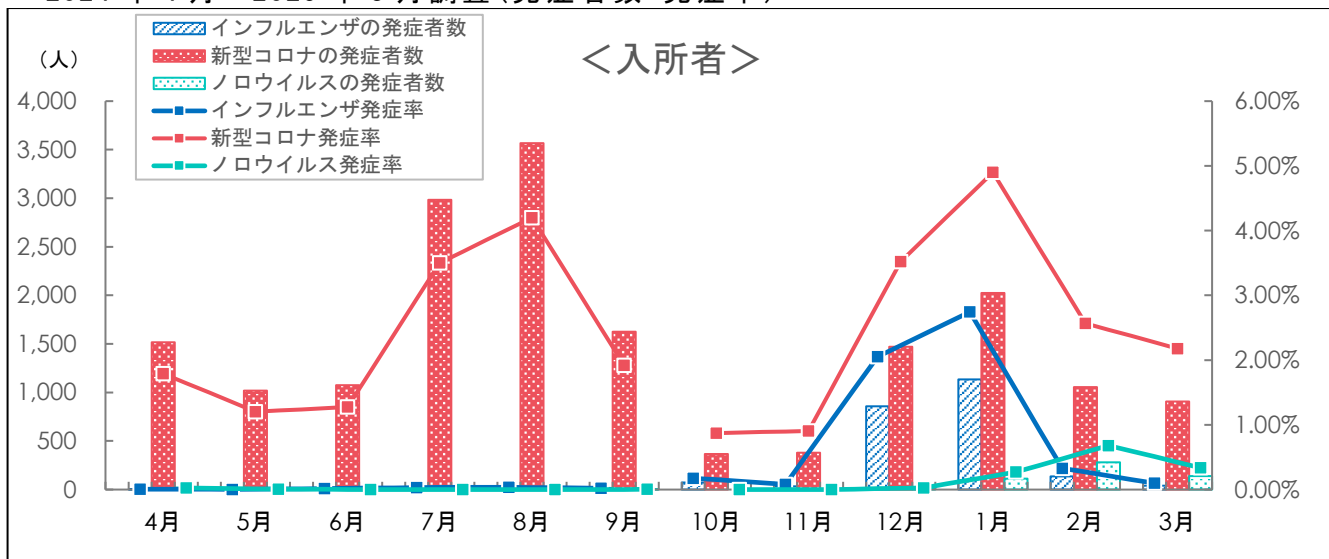
図表 1: 「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」 2024 年 4 月～2025 年 3 月分 発症者数・発症率

※ 2024 年 4 月～9 月(上半期)と、2024 年 10 月～2025 年 3 月(下半期)の 2 調査の結果を並べたものであり、同一施設から提出された一年分のデータを集計した結果ではないことに注意が必要である。

		N=956施設						N=462施設					
		2024年 4月	2024年 5月	2024年 6月	2024年 7月	2024年 8月	2024年 9月	2024年 10月	2024年 11月	2024年 12月	2025年 1月	2025年 2月	2025年 3月
入 所 利 用 者	入所者数	84,742	84,567	84,355	85,209	84,972	84,721	42,009	41,735	41,752	41,331	41,075	41,605
	インフルエンザの発症者数	5	2	13	27	31	18	74	34	858	1,134	135	41
	インフルエンザ発症率	0.006%	0.002%	0.015%	0.032%	0.036%	0.021%	0.176%	0.081%	2.055%	2.744%	0.329%	0.099%
	新型コロナの発症者数	1,517	1,018	1,075	2,985	3,568	1,626	366	378	1,471	2,025	1,054	906
	新型コロナ発症率	1.790%	1.204%	1.274%	3.503%	4.199%	1.919%	0.871%	0.906%	3.523%	4.899%	2.566%	2.178%
	ノロウイルスの発症者数	20	6	0	0	0	3	0	0	11	112	279	140
	ノロウイルス発症率	0.024%	0.007%	0.000%	0.000%	0.000%	0.004%	0.000%	0.000%	0.026%	0.271%	0.679%	0.336%
通 所 利 用 者	通所者数	64,784	65,212	65,248	65,342	64,340	64,694	33,352	33,441	33,287	32,413	32,173	32,486
	インフルエンザの発症者数	5	6	1	6	5	8	10	20	279	313	37	11
	インフルエンザ発症率	0.008%	0.009%	0.002%	0.009%	0.008%	0.012%	0.030%	0.060%	0.838%	0.966%	0.115%	0.034%
	新型コロナの発症者数	335	275	464	1,143	1,047	525	145	83	327	384	271	220
	新型コロナ発症率	0.517%	0.422%	0.711%	1.749%	1.627%	0.812%	0.435%	0.248%	0.982%	1.185%	0.842%	0.677%
	ノロウイルスの発症者数	18	4	0	0	1	0	0	0	0	1	10	10
	ノロウイルス発症率	0.028%	0.006%	0.000%	0.000%	0.002%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.003%	0.031%	0.031%
職 員	職員数	71,461	71,624	71,707	71,889	71,787	71,720	35,896	35,888	35,950	35,915	35,965	35,879
	(常勤)	54,071	54,159	54,169	54,277	54,187	54,099	26,886	26,882	26,919	26,868	26,904	26,836
	(非常勤)	17,390	17,465	17,538	17,612	17,600	17,621	9,010	9,006	9,031	9,047	9,061	9,043
	インフルエンザの発症者数	55	14	22	26	22	14	36	64	984	885	92	50
	インフルエンザ発症率	0.077%	0.020%	0.031%	0.036%	0.031%	0.020%	0.100%	0.178%	2.737%	2.464%	0.256%	0.139%
	新型コロナの発症者数	882	723	869	2,560	2,318	1,053	234	232	875	943	622	501
	新型コロナ発症率	1.234%	1.009%	1.212%	3.561%	3.229%	1.468%	0.652%	0.646%	2.434%	2.626%	1.729%	1.396%
	ノロウイルスの発症者数	13	5	7	4	3	2	2	1	10	28	160	73
	ノロウイルス発症率	0.018%	0.007%	0.010%	0.006%	0.004%	0.003%	0.006%	0.003%	0.028%	0.078%	0.445%	0.203%

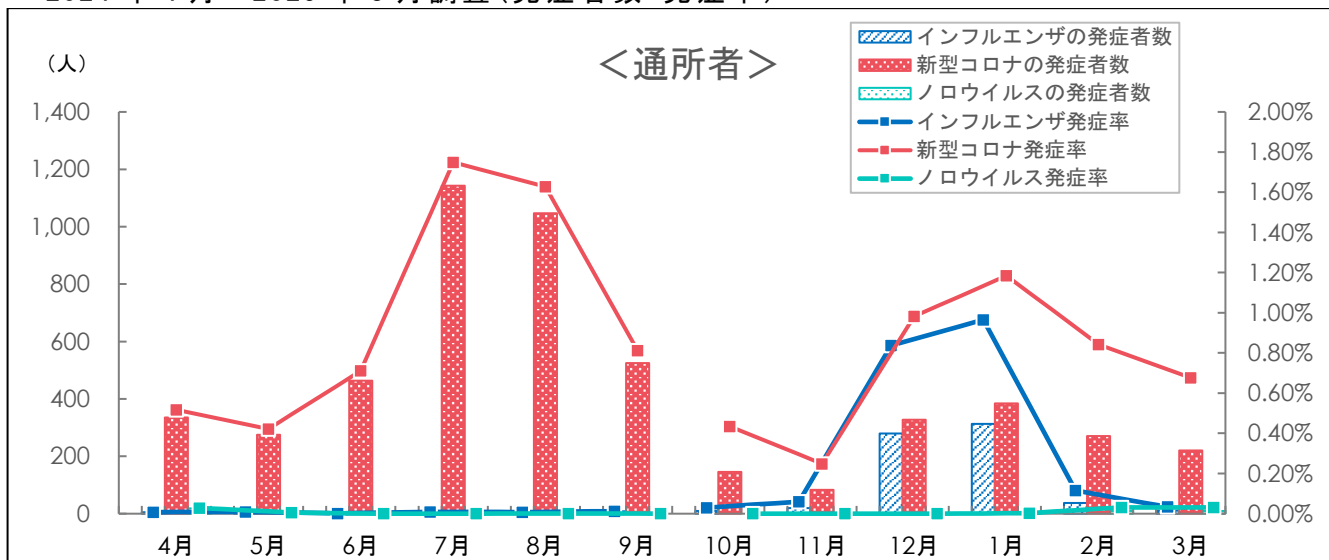
図表 2: 入所者における各感染症の発生状況

2024 年 4 月～2025 年 3 月調査(発症者数・発症率)



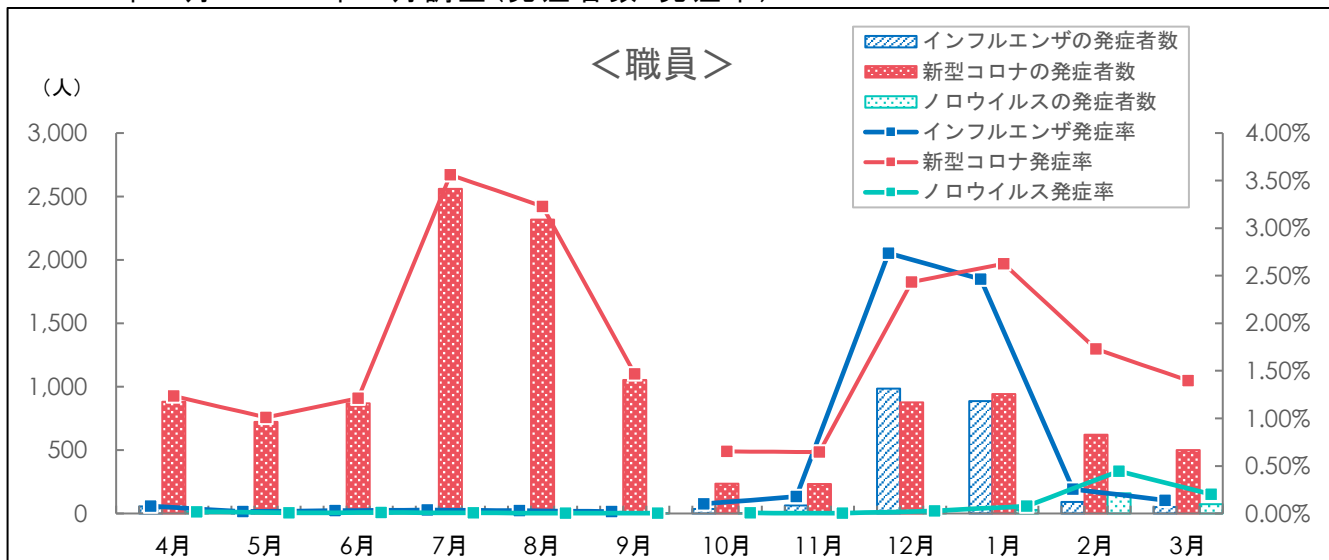
図表 3: 通所者における各感染症の発生状況

2024 年 4 月～2025 年 3 月調査(発症者数・発症率)



図表 4: 職員における各感染症の発生状況

2024 年 4 月～2025 年 3 月調査(発症者数・発症率)

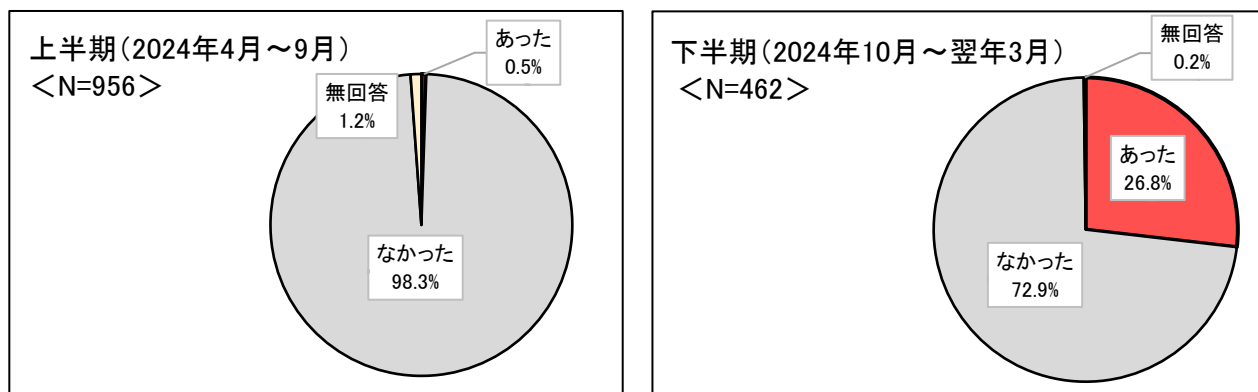


Ⅱ. インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの施設内クラスターの発生状況について

調査対象期間にクラスター(同時期に5名以上発症)があったかについて、上半期(2024年4月～9月)、下半期(2024年10月～2025年3月)の結果は図表5～7のとおり。

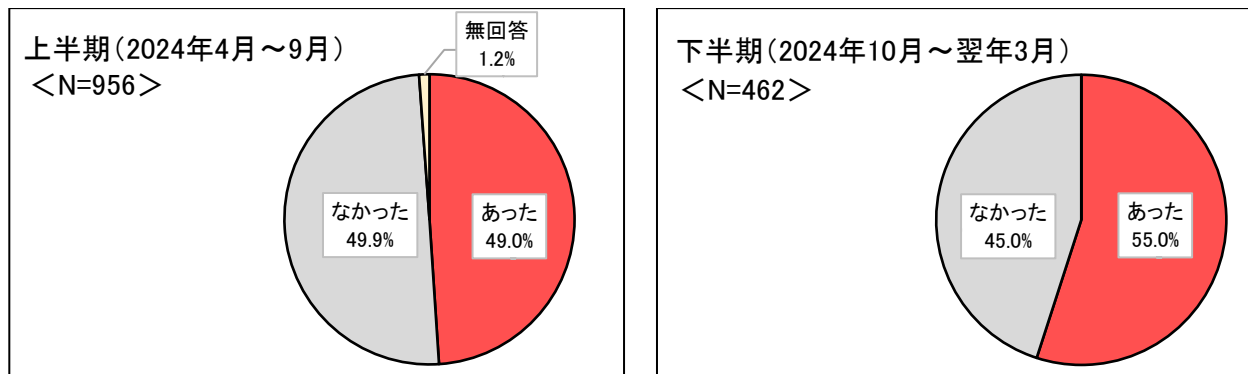
図表 5: インフルエンザの施設内クラスターの発生状況

- インフルエンザによるクラスターがあったと回答した施設は、上半期 0.5%、下半期 26.8%であった。



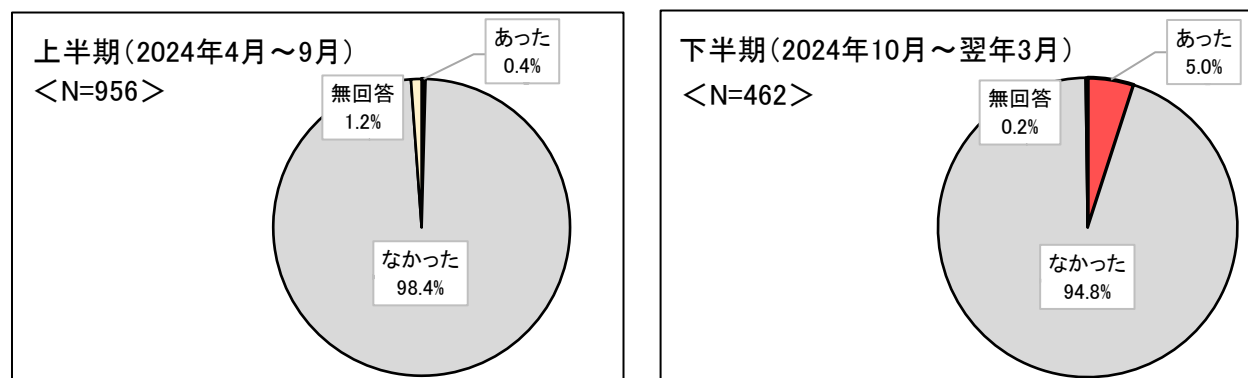
図表 6: 新型コロナの施設内クラスターの発生状況

- 新型コロナについては、上半期 49.0%、下半期 55.0%の施設が、クラスターがあったと回答した。



図表 7: ノロウイルスの施設内クラスターの発生状況

- ノロウイルスによるクラスターがあったと回答した施設は、上半期 0.4%、下半期 5.0%であった。



Ⅲ. 2023 年 4 月～2025 年 3 月の 2 年間における、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況について

インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況を俯瞰する目的で、これまでに実施した調査結果と今回の調査結果を連結したものが、次頁の図表 8 である。

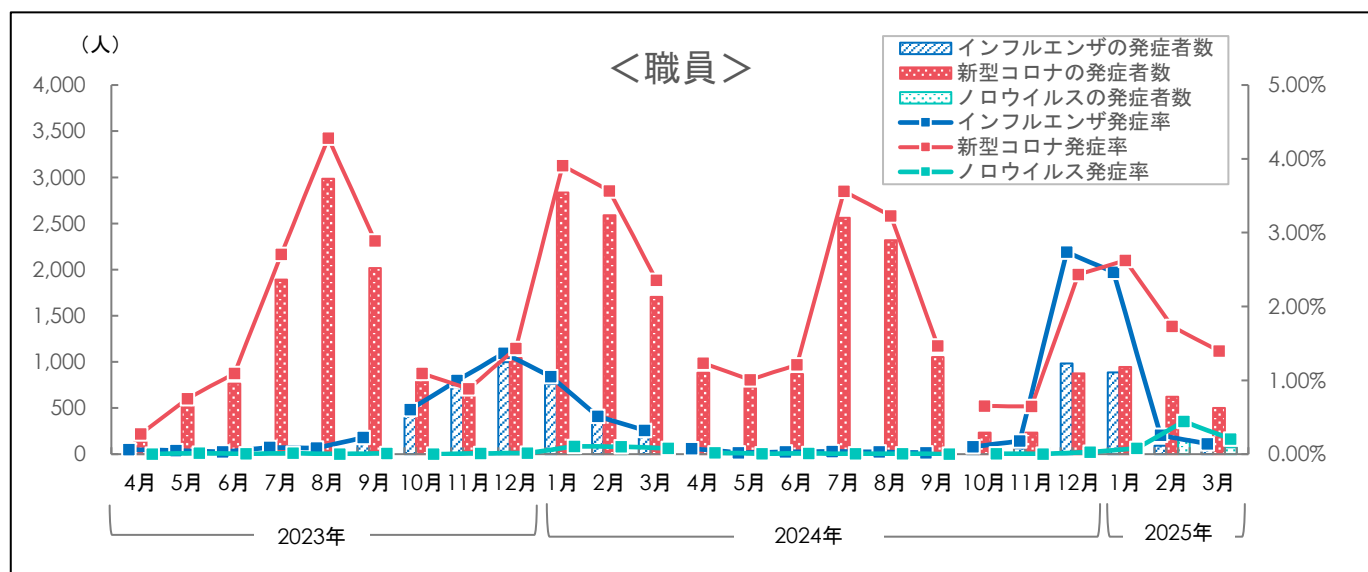
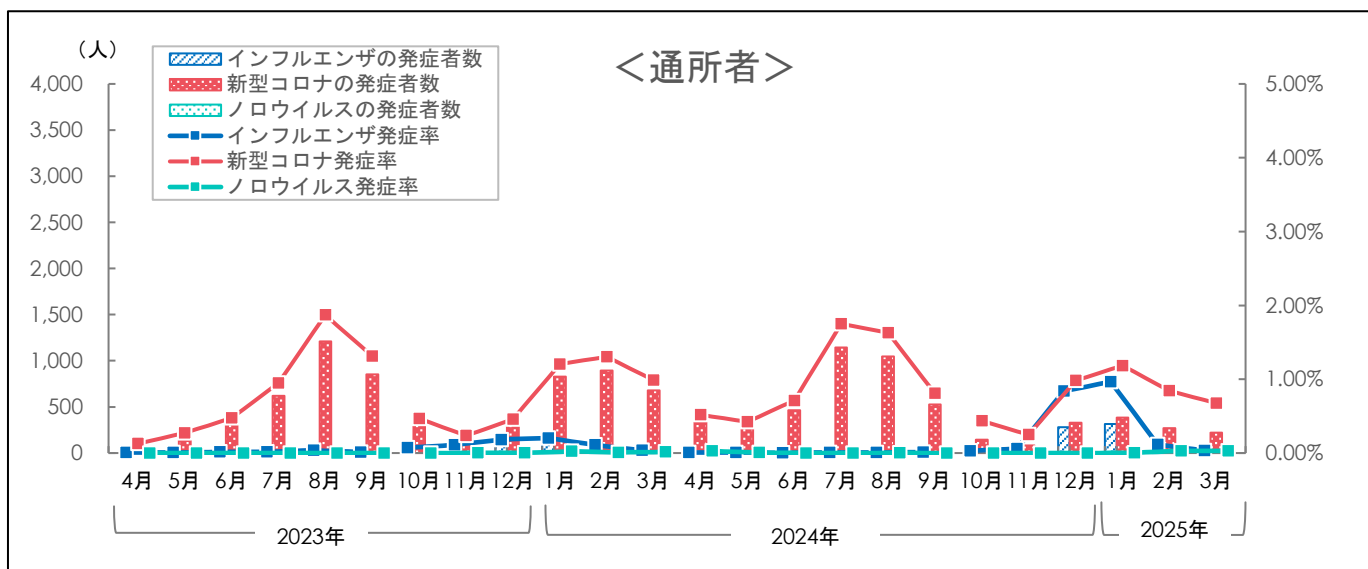
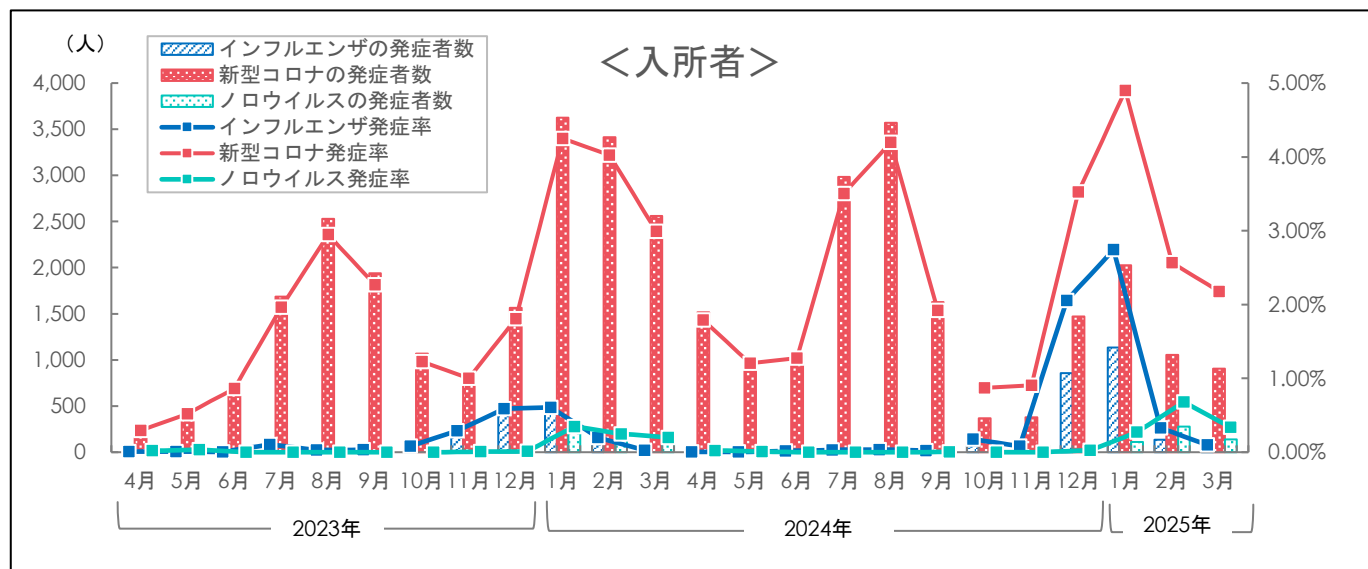
また、図表 9 はインフルエンザ、ノロウイルスの 2 感染症の発生状況を再掲している。

＜図表 8～9 の調査対象期間＞

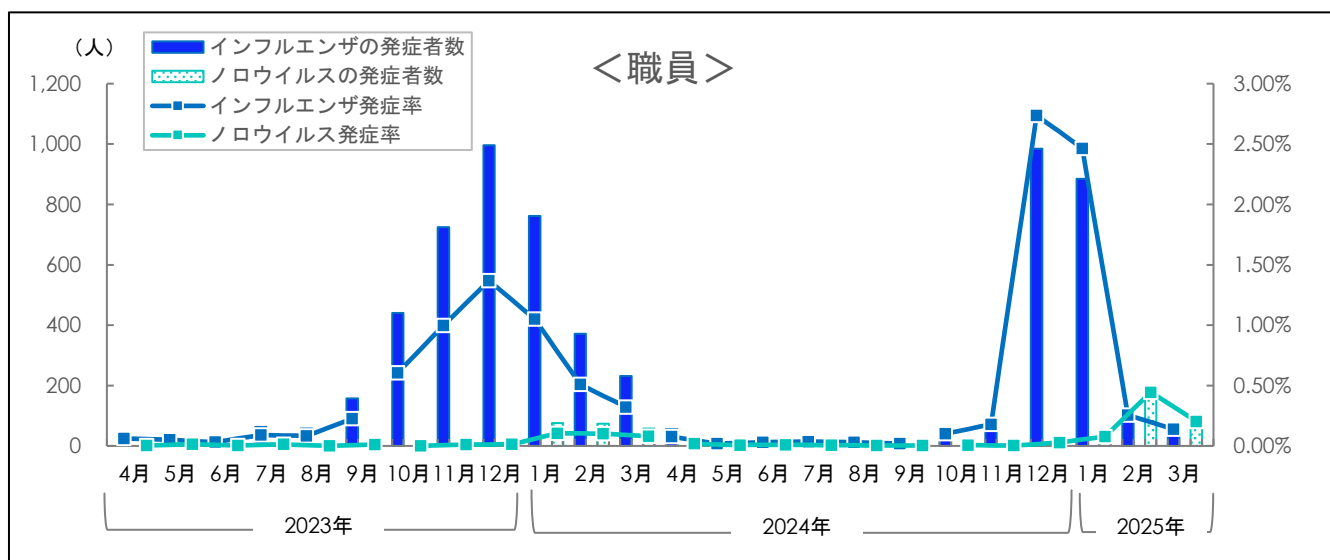
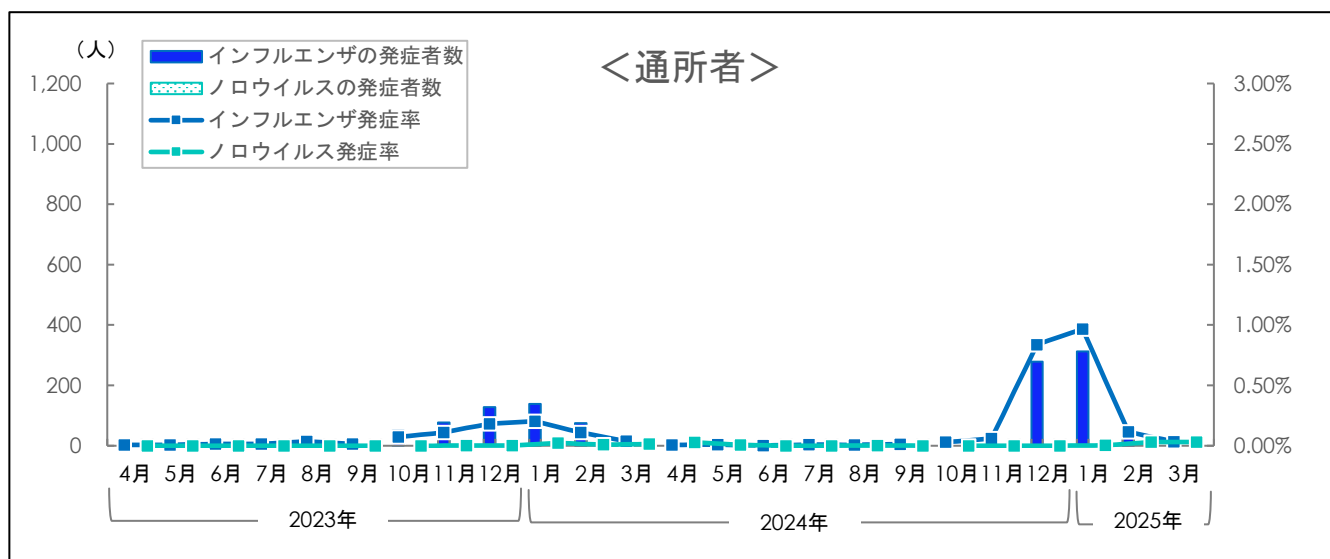
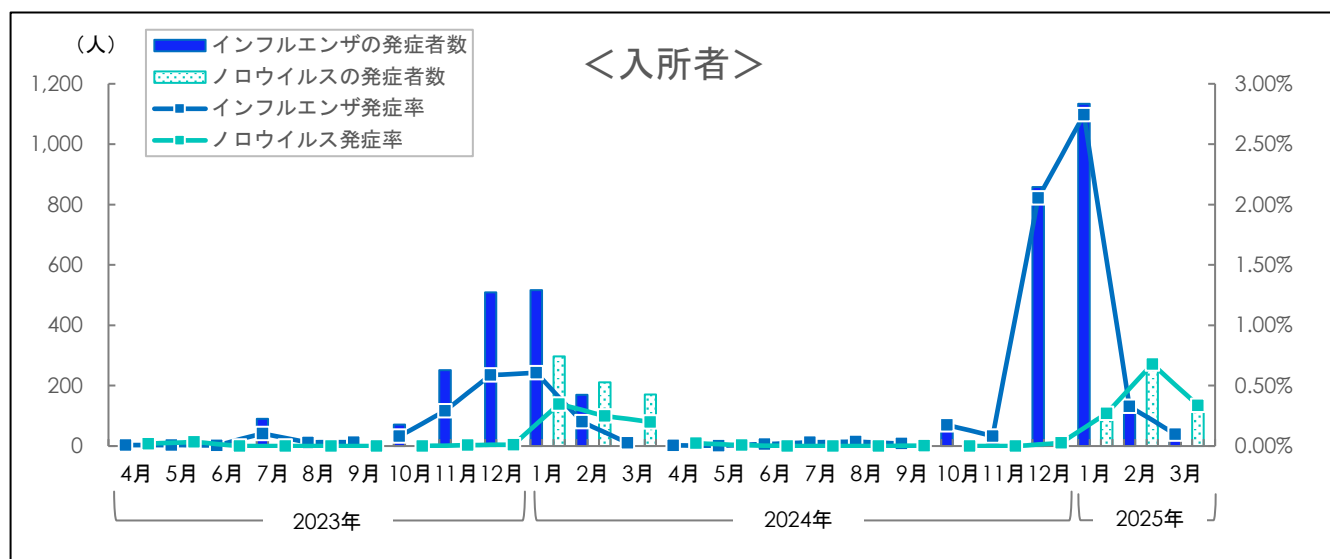
- | | | |
|--------------------------|---------|-------------|
| ① 2023 年 4 月～2023 年 9 月 | (N=938) | |
| ② 2023 年 10 月～2024 年 3 月 | (N=959) | |
| ③ 2024 年 4 月～2024 年 9 月 | (N=956) | } ③、④は今回報告分 |
| ④ 2024 年 10 月～2025 年 3 月 | (N=462) | |

なお、図表 8～9 は上記①～④の 4 調査の結果を便宜的に連結したものであり、同一施設からの 2023 年 4 月～2025 年 3 月のデータを基に作成したグラフではないことに注意が必要である。

図表 8: 2023 年 4 月～2025 年 3 月の 2 年間に於ける、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況



図表 9： 2023 年 4 月～2025 年 3 月の 2 年間に、インフルエンザ、ノロウイルスの発生状況(再掲)



IV. まとめ

今回の報告は、2024年4月以降の新型コロナ、インフルエンザ及びノロウイルス感染症の発生状況をまとめたものである。

施設におけるクラスター発生状況を見ると、新型コロナについては上半期49.0%、下半期55.0%と半数近くの施設でクラスターが発生していた。

インフルエンザは、2020年10月以降、著しく発生が少ない状態が続いてきたが、2022年度下半期(2022年12月～2023年3月)から増加傾向がみられ、今回の調査では2025年1月の「入所者」発症者数が2024年1月と比較して倍以上となった。施設内のクラスターの発生状況を見ても、今回の下半期(2024年10月～2025年3月)は26.8%となっており、2023年度下半期(2023年10月～3月)の9.2%から大幅に上昇している。

一方、ノロウイルスは他の2つの感染症とは若干異なり、毎冬、一定数の発生が報告されている。過去調査と比較すると、2022年10月～2023年3月調査では1.5%、2023年10月～2024年3月調査では3.3%の施設でクラスターが発生と報告しているが、今回の下半期(2024年10月～2025年3月)は5.0%の施設でクラスターが発生しており、過去2シーズンより多かった。

今回の調査では、インフルエンザ、ノロウイルスについて、過去2年間とくらべても更に発生が増える傾向が確認された。また、同時期に発症者が増えているため、今後は症状や検査による判別が療養の上でのポイントになる。